

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・エコアクション21(認証番号0010256)			3.9			6	7					12	13.3	14	15			
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・環境活動計画書、環境方針を全社員に周知している。												12.6						
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・工事現場において太陽光発電システムが利用されている機械の導入など、再生可能エネルギーの利用を積極的に行っている。							7.2						13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15			
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、全社員に周知する機会を設ける。																16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知する機会を設ける。																16		
24	公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・入社誓約書に知的財産の保護に関する項目を明示している。 【予定】 ・知的財産を保護することの重要性を研修会等で周知していく。									8.2	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を掲げ、社内外に周知している。 ・個人情報保護方針に則り適切に管理している。																16		
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																		16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ				5				8		10		12	13	14	15	16	17		
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・砂利採取業務主任者、採石業務管理者、公害防止管理者を常駐させ徹底した製造管理に努めている。			3.9									12.4						
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・自社製造の生コンクリートが性能を満たしているか、圧縮強度試験などの品質検査を実施している。また社内の日常検査のみならず、建設現場へ出向いて要求性能を満たしているか、各種試験も行っている。(国土交通大臣認定、JIS認証等)													9					
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	・従来の舗装材に比べ、自然環境の保全やヒートアイランド現象の抑制に優れたドライテックという舗装材の生産を開始している。						6				12	13	14	15					
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
																														
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・ハローワーク等と連携し、地域出身者を積極的に採用している。 ・現場の周辺住民にはご挨拶と説明会を行い、対話に基づき自社事業が地域に与える影響を把握し対応している。				4									9		11	12			14	15			17			
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・年に1回上高地ボランティアを全従業員で実施している。 ・2020年度寄付実績:松商学園高等学校、松本児童園 等				4												11					14	15			17	
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地産地消、地産外販)している	チャレンジ														8	9		11	12	13								
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化している。 ・年初、期初に経営目標を代表者が全社員に説明し、共有している。														8	9										17	
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・安全大会や研修会においてコンプライアンスの重要性を全社員に周知・徹底を図っている。																									16	
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	【予定】 ・CSR担当者を選任し、企業が社会に与える影響について責任を持ち、社会の持続的発展のために貢献すべきとする考え方を周知していく。																									16	
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	基本	・ステークホルダーとの対話が何よりも重要であるとの認識のもと、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を、対話を通じて把握し、対応している。																									16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																										16	
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																											16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	災害時におけるBCP、感染症に関するBCPを策定している。																9		11			13	13.1			16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ															8	9											17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)